

付着生物ラーバ情報

マボヤのラーバが出現しました

1 ラーバ等の出現状況

ラーバの調査地点は図1、出現数は表1、出現数の推移は図2、3のとおりです。

(1) ユウレイボヤ (通称：ハナ)

ラーバは奥内沖で11月15日に0.8個体/m³、11月21日に1.7個体/m³、11月27日に4.2個体/m³、久栗坂沖で11月27日に2.8個体/m³見られました(表1、図2)。

(2) ムラサキイガイ (通称：カラスガイ、シウリ)

ラーバは奥内沖で11月15日に3.3個体/m³、11月21日に7.5個体/m³、11月27日に22.5個体/m³、久栗坂沖で11月15日に2.2個体/m³、11月27日に2.8個体/m³、野辺地沖で11月15日、11月22日ともに2.3個体/m³、川内沖で11月24日に2.5個体/m³見られました(表1)。

(3) マボヤ

ラーバは奥内沖で11月27日に3.3個体/m³、久栗坂沖で11月27日に2.2個体/m³見られました(表1、図3)。

卵は久栗坂沖で11月27日に1.7個/m³、野辺地沖で11月22日に0.8個/m³、川内沖で11月24日に1.7個/m³見られました(表1)。

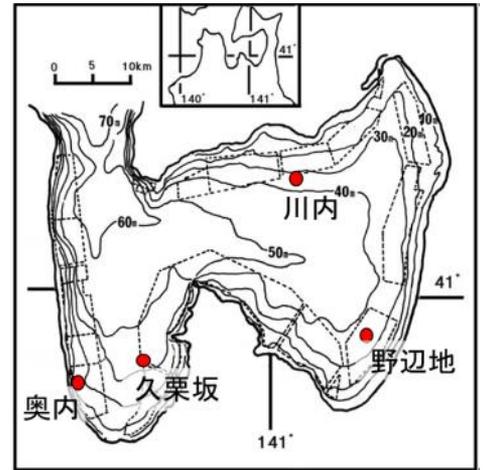


図1 ラーバ調査地点

表1 ラーバ等の出現状況

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	サラホヤ	ムラサキイガイ	サンカクフジツボ	マボヤ	
						ラーバ	卵
奥内沖	R5.11.15	0.8	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	R5.11.21	1.7	0.0	7.5	0.0	0.0	0.0
	R5.11.27	4.2	0.0	22.5	0.0	3.3	0.0
久栗坂沖	R5.11.15	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0
	R5.11.27	2.8	1.7	2.8	0.0	2.2	1.7
野辺地沖	R5.11.15	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
	R5.11.22	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.8
川内沖	R5.11.15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5.11.24	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	1.7

※久栗坂沖は実験漁場内

2 今後の見込み

(1) ユウレイボヤ

現在、陸奥湾内の中層の水温は14℃前後で、ユウレイボヤが産卵する20℃以下の水温になっています。ユウレイボヤのラーバ出現数が増加しているので、未分散のパールネットにユウレイボヤが多く付着している地区では、親ボヤを減らすために分散作業を進めてください。また、ユウレイボヤは深いところで多く付着することが分かっているので、施設を沈めすぎないようにしましょう。

(2) ムラサキイガイ

ラーバが出現していますが、秋から冬生まれのラーバの付着はほとんどないことが分かっています。

3 天然採苗情報

マボヤの卵とラーバが出現したので、今後付着する見込みです。

早めに採苗器を設置しましょう。

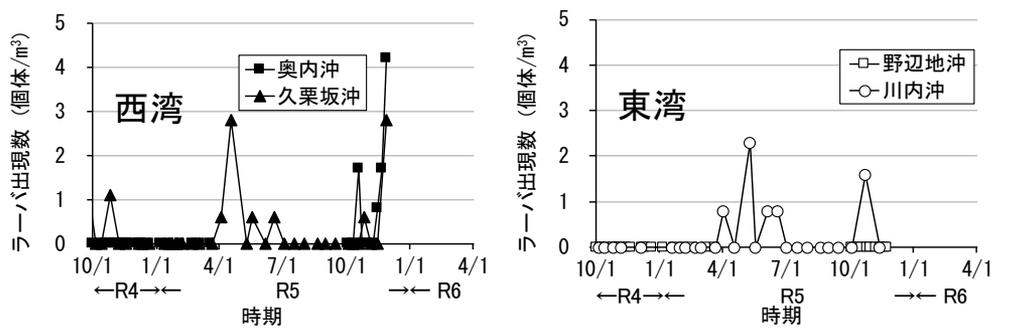


図2 ヲウレイボヤラーバ出現数の推移(令和4年10月~令和5年11月)

・平成25年の観察開始から現在までの最大値：西湾 25個体/m³、東湾 10個体/m³

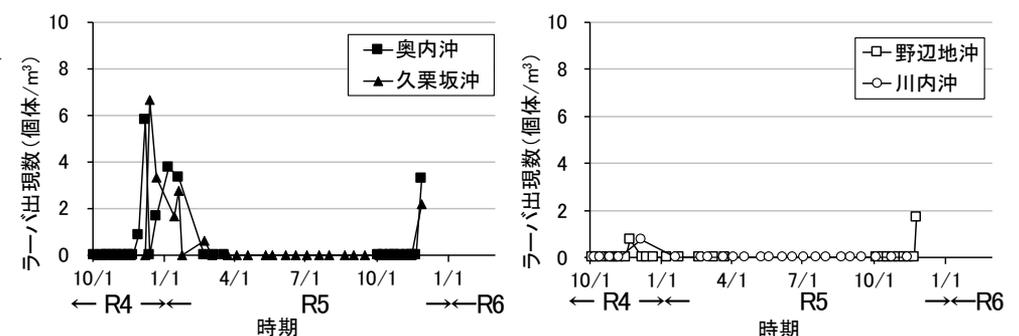


図3 マボヤラーバ出現数の推移(令和4年10月~令和5年11月)

・平成28年の観察開始から現在までの最大値：西湾 26.7個体/m³、東湾 5.0個体/m³

